

兵庫県のみ漁場環境情報 (西播海域 14 号)

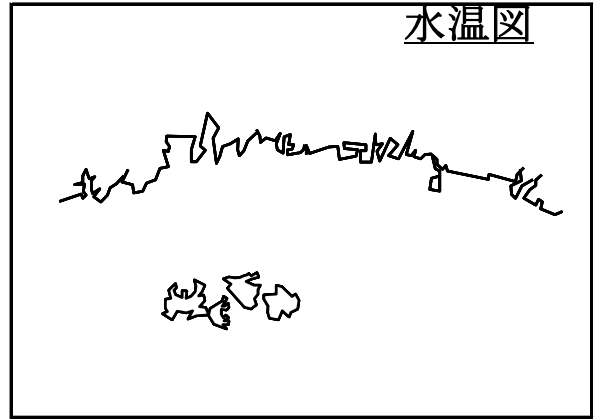
2023年 2月16日発行
 兵庫のみ研究所

西播地先では、小型珪藻のキートセロス、大型珪藻のユーカンピア等は確認されていますが、発生量は減少傾向にあります。沖合漁場では、海域北東部と西部において、キートセロスが確認されています。窒素は、西播地先東部で $1 \mu\text{g-at/L}$ 以下、その他の海域で概ね $1 \mu\text{g-at/L}$ 前後の値となっています。

(珪藻、栄養塩ほか)

西播地先では、小型珪藻のキートセロス、スケルトネマ、大型珪藻のユーカンピアは確認されるが、発生量は前回 (2/6) 調査より減少傾向にある。沖合漁場では、北東部の青井・カジや西部の院下島下においてキートセロスは確認されたが、その他の海域では珪藻類はほぼ確認されない。各海域のユーカンピア発生量(海水 1mlあたり)は、西播地先で30~140細胞(前回値: 100~300細胞)、沖合漁場で0~2細胞(前回値: 0~5細胞)であった。

網干漁場では、陸水等の影響により窒素の値が特異的に高くなっていた。



		前回値	今回値	平年値	昨年値
西播地先	窒素	0.8	0.5	1.7	0.9
	リン	0.53	0.38	0.23	0.28
家島・坊勢	窒素	0.8	0.8	1.6	
	リン	0.58	0.42	0.33	

(2/6)

※西播地先の平均は網干を除く

(2/15)

栄養塩 (窒素) 図

2023年 2月16日調査

